計画と装備［バリエーションルートの場合］

見城了＝写真　佐川史佳＝文

Q　バリエーションルートへの挑戦に必要な技術・経験は？

A　充分な雪山経験と確保技術、そして体力が必要。

冬季のバリエーションルートに挑むには、寒さ、雪崩、悪天などに対応できる雪山経験と知識が必要なのはもちろん、厳しい環境でも余裕をもって歩行・登攀ができる技術、重い荷物を持って長時間行動できる体力と気力などが必要で、簡単には立ち入れない分野だ。アイゼン、グローブを装着してのクライミングに慣れることや、体力をつけることなど、求められる条件は多い。また、不測の事態に対応する能力も高いものを求められるし、天候などの条件を見て適切な決断を下す判断力も必要だ。

しかし、これらのことをすべて完璧にこなせるようになってから……というのは、あまり現実的ではない。やれることをやるのは前提だが、経験豊富な先輩や山岳ガイドとともに初級ルートから挑戦し、少しずつ経験を増やし、技術レベルを上げていくといいだろう。

Q　特別な装備が必要なの？

A　登攀向きのピッケルやアイゼンを。

ルートの特徴によって多少異なるが、登攀に向くピッケルとアイゼンが必要だ。

ピッケルは登攀向けのシャフトがカーブしたものを2本、アイゼンは前爪が縦になっていて、小さい岩の凹凸を促えたり、氷や硬い雪に蹴り込んだりして立てるものを使おう。前爪は1本か2本か、というのは、経験者でも好みによって分かれるところだが、前爪の本数を変えられるタイプもあるので、まずはそういうモデルを選ぶといいだろう。

積雪量によってはワカンやスノーシュー、クライミング要素の強いルートでは50mロープなど、必要装備は増えていくが、なるべく無駄を省いて軽量化することもバリエーションでは特に求められる。

ハーネスはアイスクリッパーのスロット付き

アイススクリューを掛けておくためのアイスクリッパーだが、少しの間、ピッケルを離したいときに使える。軽量でシンプルなモデルで、アイスクリッパーのスロット付きのハーネスがおすすめだ

1 アウタージャケット・パンツ／ハーネスを履いてもジッパーが干渉しないプルオーバージャケットとストレッチ性が高いパンツ　**2** 中間着（上下）／パタゴニア・ナノエアライトシリーズは、通気性が高く軽量　**3** ベースレイヤー（上下）／バラクラバ付きでなくて心配がない　**4** ウールソックス／ビレイ中はかなり冷えるので超厚手を　**5** 厳冬期用グローブ／保温性が高く指先のフィット感がよいものを　**6** ファーストエイドキット　**7** ヘルメット／頭の形に合う軽量なものを選ぼう　**8** ヘッドランプ／エマージェンシー用を予備で携行　**9** コッヘル&ストーブ／湯沸かし用にコンパクトなもの　**10** ツエルト／冬は防水でなく撥水のものがよい　**11** スパッツ／雪の多い東面では必携　**12** ハーネス　**13** 登攀具／スリングは60㎝、120㎝を数本ずつ　**14** ザック／シンプルなデザインはヤブなどにも引っ掛かりにくい　**15** ワカン　**16** ロープ／ドライ加工がされた8㎜程度のダブルロープ　**17** ブーツ／クライミングに適した軽量な冬用　**18** ピッケル／ミックスクライミングに向くタイプを　**19** アイゼン／前爪がタテで1本のものが岩や氷に向く

天狗尾根のシンボル、大天狗に差し掛かる。奥の岩峰が小天狗

ステップアップ 雪山登山 2018

東面バリエーションの初級ルートで腕試し

赤岳天狗尾根

日帰り　美し森≫赤岳天狗尾根≫真教寺尾根≫美し森

▼必要な雪山技術　P86❷／P88❶／P89❷／P90❸／P91❹

大天狗、小天狗などの岩峰が屹立し、ダイナミックな景観が魅力的なバリエーションルートだ。

今回の取材では、天候の問題からスピーディな行動が安全と判断し、極力ロープを出さずに歩いたが、パーティのクライミング技術や経験などを鑑みて適正な判断をしてほしい。

天狗尾根での宿泊地は2400mより下。上部岩稜帯は尾根がやせており、快適とは言い難い。

また、真教寺尾根の上部も岩が露出し侮れない。体力、時間ともに余裕のある行動が求められる。

東面は西面に比べて雪が多いことでも知られる。積雪量によってはビバークの可能性も頭に入れておこう。

体力

★★★★★

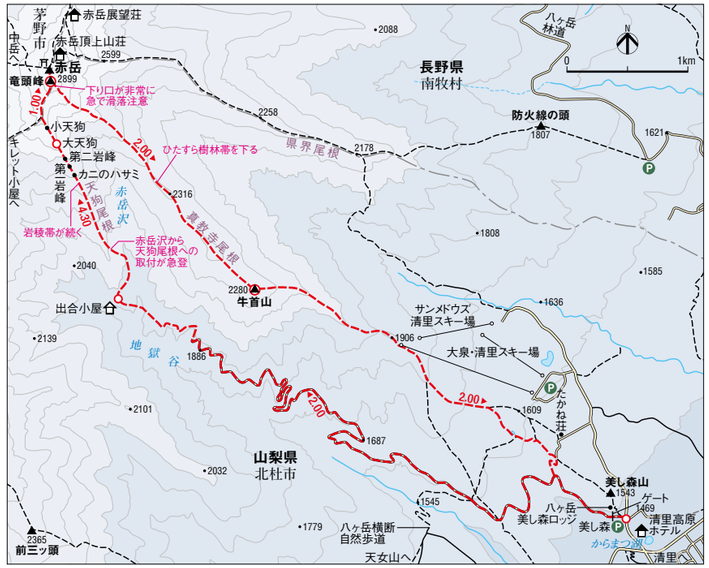
早朝美し森を出発し、登りも下りも難度の高いルートを夕方まで歩き続ける体力が必要。今回は早朝出発し日帰りとしたが、尾根上で1泊する場合は幕営装備を背負える力も。

技術／装備

★★★★★★

岩と雪のミックス帯をアイゼン・ピッケルで確実に歩ける技術、踏み跡や道標に頼らず歩ける読図力、登攀具を扱えるだけでなく、どこで使うか判断できる経験がいる。

アイゼンは12本爪を。岩角をしっかりとらえられる前爪のあるものが必要だ。樹林帯ではラッセルを強いられることがあるので、ワカンかスノーシューを携行すべき。



▶**歩行時間**　11時間30分

▶**アクセス［公共交通機関］**　往復 JR小海線清里駅からタクシーで美し森まで約5分（高根タクシー☎0551-48-2211、八ヶ岳観光タクシー☎0551-48-2025、清里観光タクシー☎0551-48-2021）

▶**アクセス［マイカー］**　中央道長坂ICから県道32号、28号、11号を経て、約30分で美し森の無料駐車場へ。

▶**登山届提出先**　山梨県警察本部生活安全部地域課 fax055-224-1180

▶**2万5000分ノ1地形図**　八ヶ岳西部・東部

STEP UP

赤岳西壁主稜

垂直の岩場が出てくる、赤岳西面の人気バリエーションルート。文三郎道の途中からトラバースして取り付く。

紹介ルート
赤岳天狗尾根

赤岳真教寺尾根～県界尾根

八ヶ岳東面の一般登山道で赤岳へ。どちらの尾根も山頂直下に岩場があり技術的難度が高いだけでなく、雪が多ければラッセルする体力も要る。

※赤岳天狗尾根は、雪山一般登山ではなくアルパインクライミングの範疇。「技術／装備」の星数はあくまで参考